

はくさん 白山の大規模地すべりの滑動を抑制

じんのすけだに
～甚之助谷地すべり対策事業～

はくさんし しらみね
(石川県白山市白峰)

1. 事業の概要

甚之助谷地すべりは牛首川の最上流の標高 1,600～2,400mの高度に位置する、全国でも希な高山地域の地すべりです。この地すべり変動の誘因の一つとして雪解けに伴う多量の地下水供給が考えられることから、地すべりブロック内の地下水を排除する工法により地すべり対策事業を進めています。

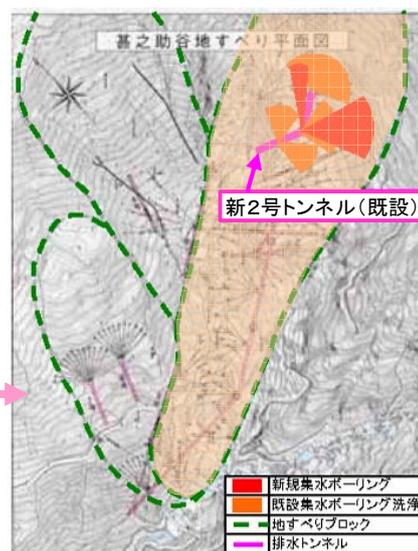
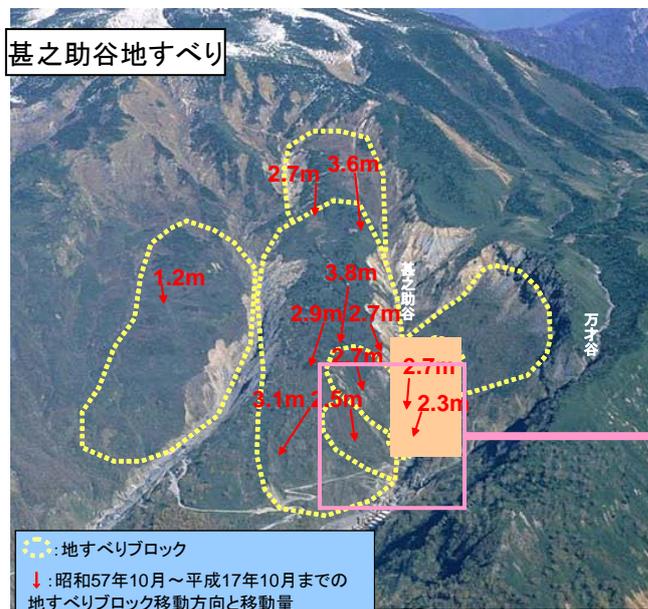
現在でも年間 10～15cm 程度の移動量が観測されていることから、左岸ブロックにおいて集水井及び集水ボーリング工を実施することにより、下流の白山市白峰地区などを土砂災害から守ります。

2. 事業の経緯

昭和 37 年の事業着手後、昭和 47 年に事業を概成しましたが、その後、昭和 50 年頃より再滑動がみられたため、昭和 56 年より事業を再開しています。

3. 平成 18 年度事業の内容

左岸ブロックの地すべり滑動の抑制のため、新 2 号トンネルから新規の集水ボーリングと既設の集水ボーリングの機能維持のための洗浄を実施します。



資料-13

左岸ブロック及び集水ボーリング位置